



【校訓】 自立・貢献・感動 【教育目標】 知る 考える 行動する

今年度は、7年生は教育科学館とのコラボができ、J-com様の取材を受めました。8年生は地元企業のS&Bさんのカレー粉を使い、東京都産業労働局のご協力を得て起業家教育を行い、小中学生起業家教育プログラムのホームページに令和7年度実施校として掲載予定です。9年生が実施した住友生命様主催のコミュニケーション講座は、毎日新聞ウェブニュース(<https://mainichi.jp/articles/20260323/k00/00m/020/046000c>)に掲載しております。この一年間多くの学習、体験をすることができました。10年後、20年後、様々な学びが一本の線となり、自分の人生、未来を描き出してくれると思います。

ここ三年間、皆様には長らく校舎の維持改修工事にご協力をいただきました。ようやく整備が整い、きれいになった校舎で、子どもたちが落ち着いて学校生活を送る姿を見届けられると楽しみにしておりましたが、この度、異動の運びとなりました。「安全・安心」を最優先に、誰一人取り残さない学校づくりをめざして学校運営をしてきた日々でした。多様性を尊重した標準服や体育着の刷新、また新たな可能性を広げるための各種講座やコンクールへの挑戦など、これまでの取り組みが形になったのは、ひとえに保護者の皆様、地域の皆様の深いご理解と温かなご支援があったからこそです。至らぬ点も多々あったかと存じますが、皆様と共に歩んだ四年間は、私にとってかけがえのない時間です。心より感謝申し上げます。お世話になりました。

住友生命による「金融教室」(9年生)

「お金のイメージは」「もし100万円あったらどうするか」について考えながら、どのお金の使い方にもメリットとデメリットがあること、キャリアアンカーの3要素(やりたいことWill、得意なことCan、価値観、やるべきことValue)が夢を見付ける要素であること、夢の実現のために必要なことは、お金、時間、気持ち、健康であること、今やることは多くの体験であること、お金はあくまでも手段でありどのように考えて使うかは自分次第であること、などお話をお伺いしました。

手話出前講座(9年生と1組)

板橋区視聴覚障害協会の方をお招きし、多様なコミュニケーションのあり方を学び、相手を思いやる心を育むことを目的として、9年生と1組は手話出前講座を実施しました。どうして聞こえないのか、聞こえ方のレベル、聞こえ方のイメージ文化や考え方の違い、聞こえない方とのコミュニケーション方法、聞こえない方の生活、聞こえない方のスポーツ、困ることなどについてお話をお伺いしました。

読話の練習をしました。相手の方が何を伝えようとしているのか、口の動きから読み取る練習をしました。また、「駅や電車内の放送が聞こえないことや物を落として声を掛けられても気付かないことなど困ることがある。声掛けをして相手が気付いてくれないときは、聞こえていない可能性があるので、肩をたたいてほしい。」とおっしゃっていました。手話の基本を学び、手話の体験もしました。最後の質疑応答では、国際手話はあるが、手話は全ての国で共通ではないことを知りました。

手話は単なる手や口の動きだけではなく、表情や視線も大切な言葉の一部であること、そして、一番大切なのは、伝えたい、という気持ちであることを学びました。「自分とは異なる状況にある誰か」を想像する大切な一歩となりました。手話を通じて、互いの個性を尊重し合える「心のバリアフリー」をこれからの生活の中で育んでいけると思います。

笑顔と学びの体験活動プロジェクト(9年生と1組)

ダブルダッチの世界チャンピオンである田野崎はるか選手、縄跳びの世界チャンピオンである稲葉海哉選手、蛇原棕華選手をお招きし、特別授業を開催しました。ダブルダッチとは、向かい合った2人の「ターナー」が、2本の縄を半周ずらして内側に回し続けます。その中で「ジャンパー」が、ダンスやアクロバットの要素を取り入れ、さまざまな技を交えながら跳び、技の創造性や表現力を競うエンターテイメント性の高いスポーツです。披露してくださる技に、くぎ付けとなり、自分たちもやってみよう、という意欲も高まりました。その後、短縄や長縄と持ち方、回し方、縄の入り方等を教えていただき、体験をしました。とても難しく、なかなかできるようになりませんが、粘り強く挑戦し、できるようになった人も多くいました。選手の方たちからも褒められ誇らしげでした。9年生は終了後、「後輩たちにもぜひ進めたい講座です。」と話してくれるほど、楽しい貴重な体験でした。

住友生命によるコミュニケーション講座(9年生)

コミュニケーションの必要性、コミュニケーションスキル、理想のコミュニケーション、チームワークのヒントなど、グループワークをしながら学び、体験しました。心が開く素敵なあいさつ、話す極意(笑顔で、ドッジボールではなくキャッチボールで、極力ポジティブトークを)、好ましくない話し方の特徴(4つのD:でも、だって、どうせ、だめを使わない)、聴く極意(笑顔で目を見て、高めのトーンで、頷いたりリアクションしたりしながら、感嘆、反復、共感、称賛、質問など)、「違う意見をもつことは自然なこと。社会ではいろいろな意見が出ることで、よりよい成果につながる。同じ意見しか出ない組織は、成長が止まってしまう。」など、ビジネスや日常生活において、信頼関係の構築力や課題解決力、交渉力を高めることができた講座でした。この講座の最初に、自己紹介として自分の推しや気になる仕事についてグループで話し、再びこの講座の終盤で、同じ自己紹介をしましたが、とても盛り上がる、温かい雰囲気での自己紹介となり、より良いコミュニケーションとは何か、を実感できた2時間でした。

教育科学館”魔改造”プロジェクト feat.(7年生)

小さい子どもから大人まで安全で楽しめる空間、コミュニティセンター、「科学」という一見難しそうと感じるイメージを払拭させ、科学の本質的な楽しさをより深く自然に伝えるための空間など、自分たちが住むこの街の一角を理想の場所に変えることをめざして、何度も考え、話し合いや試行錯誤を繰り返しながら、教科横断的な探究学習を行ってきました。インフルエンザ感染拡大防止のために、学校でも、科学館でも活動ができない日もあり、計画通りに進めることができない中でしたが、自分たちで日程調整を図り、ご家庭の協力も得て、公開の日を迎えました。学期後半からのこの活動、正解のないものを自分たちで創り上げてきたこのプロセスの中で、自己や他者の今まで気付かなかったよさや可能性に気付くとともに、私たちの暮らすこの科学館を、地域を多くの人々から愛され、学び続けられる街にどのようにしていけばよいのかなど郷土愛についても考えることができました。この機会を与えてくださった、教育科学館さんに感謝いたします。

【オープニングセレモニー 生徒お礼の言葉】

この度は、上板橋第三中学校の7学年に「魔改造計画」という貴重な体験の場を設けていただき、本当にありがとうございました。

最初は「一から自分たちで作出すなんて、本当に完成できるのだろうか?」と不安もありましたが、科学館の方々の温かいアドバイスとサポートのお陰で、自分たちの想像を超える素敵な作品を完成させることができました。完成した瞬間の達成感、今まで味わったことがないほど大きかったです。作業中、意見が分かれて小さな衝突が起きてしまうこともありましたが、今振り返ればそれも含めて全力で取り組んだ楽しい思い出です。何より、科学館という特別な場所で、仲間と一緒に試行錯誤できたことは、普段の学校生活では絶対にできない貴重な経験でした。「まだ終わらせたくない。この仲間ともっといいものを作り出したい。」と心から思えるほど充実した幸せな時間でした。

中央図書館 令和7年度利用者懇談会

～「Enjoy Books」読書を楽しむ人がいっそう多くなり、賑わうような図書館とは～

【参加者】5名

地域の中学校、高等学校の生徒が集まり、私達の世代が図書館をより多く利用するためにどんなことができるかを話し合いました。

【参加者の感想】

- ・年齢の近い人と話し合ったので、共感できる意見や、予想外ですがとても面白そうな意見を聞くことができ楽しかったです。印象に残ったのは、図書館のしおりのデザインを募集してコンクールみたいにしたら参加者も集めやすく、賑やかになるのではないかと、という意見です。本に限らずとも図書館に来るきっかけを作れるいい提案だと思いました。
- ・図書館内に飲食OK、お喋りOKのスペースを作ったり、Yogiboを置いてリラックスできる空間を作ったりすることを提案しました。他の提案としては、新しく入ったシリーズ本をお知らせしたり、お薦めの本の動画を作って配信したり、虫を特集するコーナーなどの小さい子から大きな大人までが楽しめるイベントなどを開催したりすることなど様々な提案がありました。
- ・私はグループの中で一番年齢が下で緊張しましたが、高校生の方々も対等に接してくれて、それぞれ自分の意見を出し合うことができたのでとても楽しい活動であるとともに、とても貴重で良い経験になりました。

3月19日卒業式 卒業おめでとうございます

前日の準備は在校生が心を込めて行いましたが、卒業式当日は体育館の大きさの都合で、在校生は兄弟姉妹がいる人のみ出席しました。



卒業生の言葉 3名

長く厳しかった冬の寒さも和らぎ、かすかな春の訪れを感じる今日の佳き日、私たちは卒業の日を迎えることができました。本日は私たちのために、このような卒業式を挙げてくださりありがとうございます。卒業生一同心より感謝申し上げます。

三年前、新しい標準服に身を包み入学式に参加した日が、まるで昨日のこのように感じられます。思い返してみれば、この三年間いろいろな思い出がありました。

入学した当初、私たちは勉強や友人関係など、様々な不安を抱えながら日々を過ごしました。七年生の私たちに、一番初めに待っていた行事は、運動会でした。慣れない環境の中で、仲間たちと共に切磋琢磨し合った日々は、クラスの仲を深めるきっかけになりました。そして次に待っていたのは、初めての定期テストでした。勉強法が分からず、何から手を付けていいのか悩みました。それでも、クラスではお互いの分からないところを教え合う姿や、ワークを何度も解き直す姿があり、何とか定期テストを乗り切りました。二学期は、私たちにとって初めての校外学習となる、川越校外学習がありました。ルート決めから言うことを聞かない人がいたり、校外学習当日も様々な問題を起こす人がいたり、苦勞が絶えませんでした。班長を中心にみんなで協力をしながら、寺社仏閣を見学したり、おみくじを引いたりしながら、川越の良さを学ぶことができました。また、連合球技大会では、区内8校でソフトバレーボールを行いました。とても不安で緊張し、最初は足が思うように動きませんが、試合が終わる頃には少し緊張もほぐれ良い経験になりました。そしてあっという間に一年が経ち、私たちも先輩になりました。後輩たちが入学してきてこれからの学校生活が楽しみになったのを今でも覚えています。



八年生では、9月には三日間の職場体験がありました。慣れない環境で、初めての仕事をこなすのは大変でしたが、仕事をする事の重要性や挨拶などのマナー、働く姿勢を学ぶことができました。そして11月には鎌倉校外学習がありました。電車を乗り継いでの長距離移動となりましたが、川越のときの反省を生かし、班員全員で協力しながら鎌倉の風景を心に刻むことができました。1月には初めての宿泊行事であるスキー教室がありました。一日めは、滑れはするもののなかなか止まらず、友達に突っ込んでしまったり、スキーの靴が重く歩くのに苦勞したりしました。それでも、三日めにはみんな上達して、楽しく滑ることができました。また、宿舎ではみんなで集まって、カードゲームをしたり、夜こっそり恋バナをしたりなど初めての宿泊行事を存分に楽しむことができました。

そしてとうとう最高学年である九年生になりました。七、八年生を引っ張っていく責任感や受験生であることに不安を感じながらも、これからの日々を期待を膨らませていました。クラス替えをしてすぐに、修学旅行の準備は始まりました。慣れていないクラスでのルート決めや部屋班決めには時間がかかりましたが、このできごとをきっかけに、段々とクラスの仲が深まっていきました。修学旅行一日めは、大阪万博に行き、大屋根リングを歩いたり、国連パビリオンを体験したりして、多くの思い出、学びを得られる時間となりました。宿舎では、部屋の人数が多く騒がしくなることもありましたが、みんなと楽しく夜を過ごすことができました。二日めは東大寺に行った後、班行動で京都を周りました。途中で班員がはぐれてしまったり、到着時間に遅れてしまったりと様々なトラブルがありましたが、最終的には笑顔で宿に戻ってくることができました。三日めは、タクシーで京都を周り、運転手さんとコミュニケーションを取りながら、京都の街並みや歴史に触れることができました。帰りの新幹線では、先生に怒られている人もいれば、トランプをしている人、寝ている人もいて、たくさんの経験と思い出を得て東京に帰りました。帰ってくるとすぐに運動会や期末テストがあり、二学期が始まると受験を意識する時期になりました。三学期には、クラス全員が揃う日が少なくなり、クラスも少しずつ張り詰めた雰囲気になりました。しかし、それは一人一人が自分の目標に向かって努力をし、最後まで最善を尽くした証です。この経験がこれからの人生の大きな糧になると思います。

そして、中学校生活最後の行事である合唱コンクールがありました。9月に曲を決めてから。どのクラスも優勝をめざして練習を重ねていきました。男子がうるさすぎるクラスや男子の音が聴こえないクラスなど、多くの悩みを抱えながらの練習でした。しかし、先生方や実行委員のアドバイスを取り入れながらひたすら練習を繰り返していくうちに、どのクラスも確実に成長していきました。本番では全クラスが最高の合唱をし、多くの人を感動させることができました。そして、みんなが互いに検討を称え合い、良い思い出を刻むことができました。今回の合唱コンクールは、中学校三年間の集大成としてふさわしい、全員が力を発揮することができた行事になったと思います。

気付けば3月。長いようで短かった中学校三年間も今日で終わりを迎えます。この三年間で私たちは、多くの仲間と出会い、多くの時間を共に過ごしてきました。私たちがここまでこれたのは、たくさんの方々の支えがあったからです。

地域の皆様、いつも私たちが快適に過ごせるようにサポートしてくださり、ありがとうございました。漢検、英検をはじめ、様々な場面でお世話になりました。これからも私たちの成長を見守っていただければ幸いです。

在校生の皆さん。これからは皆さんが学校を引っ張っていく番です。様々な行事の中心になったり、後輩が入ってきたり、めまぐるしい日々が待っています。大変なことが多くなりますが、その経験を通して必ず成長でき

と思っています。そして皆さんが大切な思い出と共に卒業式を迎えることができるよう、学校生活の些細なできごとを大切にしてください。これからの上三中を、よろしくお祈りします。

九年生のみんな、今まで仲良くしてくれてありがとう。運動会や修学旅行はもちろん、何気ない毎日を楽しく過ごせたのはみんながいたからです。いろいろな言い争いをしたり、いっぱい怒られたりしましたが、今思い返すとそれがあったからこそ、ここまで仲良くなれたのだと思います。三年間ありがとう。これからも仲良くしてね。

先生方、今までありがとうございます。先生方にはたくさんご迷惑をおかけしました。しかし、先生方が本気で私たちに向き合ってくくださったおかげで、ここまで成長し卒業式を迎えることができました。無事に進路を決めることができたのも、楽しく授業を受けることができたのも、先生方がいてくださったからできたことです。高校に進学しても、先生方に教わったことを決して忘れず、自分たちらしく夢に向かって羽ばたいていきます。先生方と出会うことができ本当に幸せでした。本当にありがとうございます。

そして最後に、ここまで私たちを育ててくれた両親へ感謝を伝えたいと思います。私をいちばんそばで支え続けてくれたのは、お父さんとお母さんです。時には素直になれず、ぶつかることもたくさんありましたが、どんなときも見捨てず、見守ってくれたことを本当に感謝しています。これからも生意気なことを言ってたくさん困らせるとは思いますが、これからもよろしくね。部活動をやっているときも、進路を決めるときも信じて応援してくれたから今の自分がいます。毎日ご飯を作ってくれたり、嬉しそうなどときには一緒に喜んでくれたりしました。これまで以上に迷惑を掛けるとは思いますが、成長を見守っていてください。今まで本当にありがとう。

今日、私たちは三年間の思いを胸に、大切な仲間と共に上板橋第三中学校を卒業します。高校という全く新しい環境での生活は不安だらけだと思います。しかし、私たちは不安だらけだった中学校生活がこんなにもいっぱい素敵な思い出で埋め尽くされています。だから、自信をもって高校生活を送っていきます。

やるべきときには、どこからこの力が出てくるのだろうと思うほど団結して力を発揮し、何かを成し遂げるために話し合いをしながら課題解決をしていた卒業生。先輩たちを見習って、在校生がこれからの上三中を作っていくと思います。

4月行事予定

- 8日(水) 始業式、着任式、給食なし
- 9日(木) 入学式 出席しない生徒は自宅学習
- 10日(金) 新入生歓迎会 学力推進週間始
避難経路確認、教科書配付
- 13日(月) 安全指導
- 14日(火) 身体計測 体育着登校
- 15日(水) 個人写真撮影、給食後下校
- 17日(金) 専門委員会
- 18日(土) 土曜授業プラン、避難訓練(引き取り訓練)、保護者会
- 20日(月) 尿検査一次 *8時50分までに保健室提出
- 21日(火) 中央委員会
- 22日(水) 9年生全国学力調査(英語聞くこと・書くこと、生徒質問)
下校14時25分 再登校16時00分
- 23日(木) 9年生全国学力調査(国語、数学)、部活動仮入部終
- 24日(金) 尿検査1次追加 *8時50分までに保健室に提出
- 27日(月) 生徒朝礼、心臓検診(7年生、9年生、該当者体育着登校) 13時20分開始
- 28日(火) 7年生内科検診体意義登校13時30分開始
9年生全国学力調査(英語話すこと)
- 30日(木) 部活動保護者説明会15時から15時45分 下校14時25分 再登校16時00分

緊急メール「すぐーる」はそのまま継続使用になります。

桜の木を3本植樹しました、少しですが開花しました。来年度はもっと花をつけるとは思います。楽しみにしてください。



★生徒の活躍★

第29回図書館を使った調べる学習コンクール(全国コンクール)

奨励賞 8年生 佳作 8年生

令和7年度読書感想文東京都コンクール

都最優秀賞 「私の舟を編む」9年 (全国推薦)

板橋区書き初め大会 in 大東文化大学 2026

金賞 2名 銀賞 2名

第65回東京都中学校書き初め紙上展

金賞 8年生 3名

7年生 6名

すららカップ

すららドリルにおいて、設定された課題を全てクリアした生徒に送られる「ミッション達成アワード賞」

8年生 1名